

社名 榮四郎瓦株式会社
創業 享和元年(1801年)
株式会社設立 昭和43年(1968年)
代表取締役 樺山朋久
資本金 1億円
従業員数 195名

本社
447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel: 0566-48-5111 Fax: 0566-48-2416

本社工場
447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel: 0566-48-5112 Fax: 0566-42-4800

本社北工場
447-0013 愛知県碧南市白沢町1-2
Tel: 0566-45-5754 Fax: 0566-45-5706

衣浦工場
447-0854 愛知県碧南市須磨町2-20
Tel: 0566-48-2155 Fax: 0566-48-2157

玉津浦工場
447-0844 愛知県碧南市港本町4-55
Tel: 0566-48-4741 Fax: 0566-48-4781

エスパニカ工場
447-0859 愛知県碧南市中松町1-1
Tel: 0566-42-1511 Fax: 0566-42-1110

関東営業所
321-3233 栃木県宇都宮市上籠谷町3097-3
Tel: 028-612-5823 Fax: 028-612-5824

九州営業所
849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀5529
Tel: 0942-94-4460 Fax: 0942-94-4383

台湾出張所
台中市大里區德芳路1段231巷22號
Tel: 886-915-296-007
Fax: 886-4-2301-5182

関係会社
協栄粘土製造株式会社
447-0011 愛知県碧南市平山町3-3
Tel: 0566-48-1231 Fax: 0566-48-5553



19-10
初刷

<http://www.eishiro.co.jp>



会社案内

榮四郎瓦株式会社



原土採掘(協栄粘土製造株式会社)



製造工程(成型)



製造工程(乾燥)



本社

ごあいさつ

栄四郎瓦株式会社は、二つの使命を持って、粘土瓦の生産・販売活動をおこなっています。一つは、1400年の歴史を持つ日本の粘土瓦文化を継承し、伝統的建築物に対し、粘土瓦を供給することです。時代の変遷、地域建築文化の多様性により、様々な瓦形状が生み出され、日本の建築文化にとって貴重な建築材料として発展してきました。しかし、建築様式の洋風化に伴い、近年、いぶし瓦の生産者数が減少しています。栄四郎瓦株式会社は、最大はいぶし瓦メーカーであり、推測するところでは、現在、日本で最も古くから生産を続けている粘土瓦メーカーです。粘土瓦の意匠を継承し、後世に伝えることを使命として、さらに、豊かな粘土瓦文化の発展に貢献していきたいと考えています。

もう一つの使命は、住宅を始めとした建築物への良質な屋根材料の供給です。粘土瓦は古い歴史を持つものですが、長い期間、衰退せずに使われてきたということが、粘土瓦の優れた性能を証明しています。今日、様々な新しい屋根材料が誕生していますが、屋根工事の簡便さや、建築コスト削減に対応するものであり、その性能は、粘土瓦には敵うものではありません。

粘土瓦は、耐久性能・遮音性能・美観などの各種の性能に優れ、また、環境や景観への配慮にも適した屋根材料です。そうした優れた特性を持つ粘土瓦を、より多くの人に使用してもらうことを使命として、さらに優れた性能を生み出していきたいと考えています。製品「栄四郎瓦」を世に送り出すことに誇りと喜びを感じ、社員全員で真摯に粘土瓦の生産に取り組んでまいります。



栄四郎瓦株式会社
代表取締役社長
縦山朋久

栄四郎瓦株式会社の基本方針

製造・販売およびサービスなどの事業活動における企業責任を果たすため、以下の事項を定め、マネジメントシステムを推進し、その有効性を継続的に改善します。

- 1：品質第一に心得、敏感に行動する。
- 2：感性を磨き、こだわりを重視する。
- 3：流行に惑わされず、百年の計を見通す。
- 4：快適な職場環境を形成し、社員の安全と健康を確保する。
- 5：法規制およびその他の約束を遵守する。
- 6：資源の節約および廃棄物の発生量の低減に努める。
- 7：あらゆる活動状況において、汚染の予防を徹底する。
- 8：環境への負荷を常に考えた行動を行い、環境負荷の少ない製品の提供に努める。

沿革

創業200有余年——次の100年に向かって

- 享和元年(1801) 初代縦山金造、屋根瓦の製造を始める。
- 文久元年(1861) 3代目縦山栄四郎、販路を広める。
- 明治15年(1882) 4代目縦山金造、神社仏閣に瓦を納め、尾張・紀州方面に販路を広げる。
- 大正14年(1925) 5代目縦山金治郎、「文化瓦」という塩焼瓦を一時製造、なお関東一円に黒瓦の販路を広げる。
- 昭和23年(1948) 資本金200万円で「合資会社丸栄商店」を設立し、塩焼単独窯を設置する。
- 昭和38年(1963) トンネル窯1基を新設する。
- 昭和40年(1965) 「合資会社縦山商店」と社名変更したのち、「株式会社丸栄商店」を設立し、資本金を800万円とする。
- 昭和41年(1966) 碧南市大字西端に西端工場を新設し、トンネル窯1基を新設する。
- 昭和43年(1968) 「丸栄陶業株式会社」と社名変更し、資本金を1,300万円とする。
- 昭和47年(1972) 7代目縦山善久、代表取締役役に就任する。
- 昭和55年(1980) 碧南市須磨町に衣浦工場を新設し、竣工する。
- 昭和63年(1988) 衣浦工場に「銀いぶし瓦」用トンネル窯を設置、生産を開始する。
北九州出張所を佐賀県三養基郡中原町へ移転する。
- 平成元年(1989) 碧南市白沢町に内井昭蔵氏による「本社社屋」が完成する。
- 平成3年(1991) ブランド名を「栄四郎瓦」とする。
- 平成5年(1993) 皇居「吹上御所」に「銀いぶし」特注瓦、塀瓦、敷瓦など採用される。
- 平成9年(1997) 12月 資本金を2億970万円とする。
- 平成12年(2000) 1月 玉津浦工場が竣工する。
2月 秋篠宮殿下、同妃殿下のお成りをいただき、本社社屋、製造設備及び「栄四郎工房」のご視察を賜る。
- 平成18年(2006) 5月 新に開発した新平板瓦生産拠点として、本社第3工場を竣工する。
- 平成22年(2010) 4月 8代目縦山朋久、代表取締役に就任する。
- 平成24年(2012) 8月 関東営業所を栃木県宇都宮市に移転する。
- 平成25年(2013) 10月 協栄粘土製造株式会社の株式を取得し、子会社化する。
- 平成29年(2017) 1月 本社北工場を取得する。
2月 資本金を1億円とする。
9月 「栄四郎瓦株式会社」に社名変更。



製造工程(焼成)



特注品制作



屋内展示場(本社内)



屋外展示場(本社工場内)